

土木技 Ver1.6 詳細情報

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から弊社商品土木技をご愛顧頂き誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

この度、土木技 Civil-CALS/Road-CALS のバージョンが Ver1.6 となりました。

土木の基準である「工事完成図書の電子納品要領(案)」に加え、「(同)電気通信設備編」、営繕の基準である「営繕工事電子納品要領(案)」に対応したのを始め、ご好評をいただいておりますデジタル写真館に更に大幅な機能追加などの改良を施しています。

これにより、土木技をご利用いただける範囲が拡大したのはもちろん、業務の中心となる写真管理がますます使いやすくなっています。

是非 Ver1.6 をインストールして、改良した機能を体感して下さい。

※「工事完成図書の電子納品要領(案) 電気通信設備編」、「営繕工事電子納品要領(案)」の対応は別売オプションです。



電子納品要領「電気設備編」「営繕」 対応オプション発売

(電子納品ツール・デジタル写真館)

※別売オプションです。

Ver1.6 から土木の基準である「工事完成図書の電子納品要領(案)」に加え、「(同)電気通信設備編」、営繕の基準である「営繕工事電子納品要領(案)」に対応しました。またすでに公開されている各発注機関の電気通信設備編にも対応しています。

電気通信設備



対応

営繕



対応

営繕の電子納品ではオリジナルファイルと PDF ファイルを二重で納品する必要があります。土木技ではご存知のように WORD や EXCEL を自動で PDF に変換する機能があるため、大半の書類は自動で納品用 PDF ファイルを作成します（PDF ファイルに変換できないファイルは別途 PDF ファイルを作成の上、登録する必要があります）

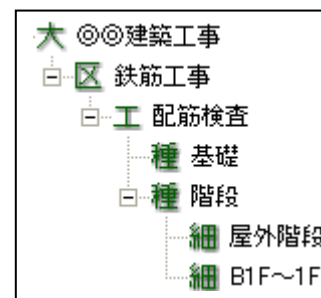


※制限事項

土木技でオリジナルファイルから PDF ファイルへ変換できるのは、WORD・EXCEL・PDF ファイルのみになります。また PDF ファイル変換を行うためには Adobe Acrobat Standard / Professional が必要になります。レイヤーリストファイルは出来上がった成果品にお客様が追加していただく必要があります（雛形ファイルとして Default フォルダへインストールされます）

デジタル写真館でも営繕に対応し、工事写真の撮り方に対応したデータを出力できます。

新しく追加された機能「カスタムフォルダ」を使用し、エクスプローラ感覚でデータを簡単に作成できます。



カスタムフォルダで無理なく写真管理

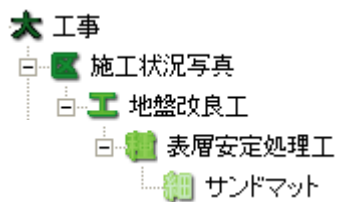
お客様の管理方法により近づいたカスタムフォルダ機能を搭載しました。

エクスプローラで管理する感覚でフォルダを追加でき、日々の写真ファイルを分かりやすく仕分けできます。

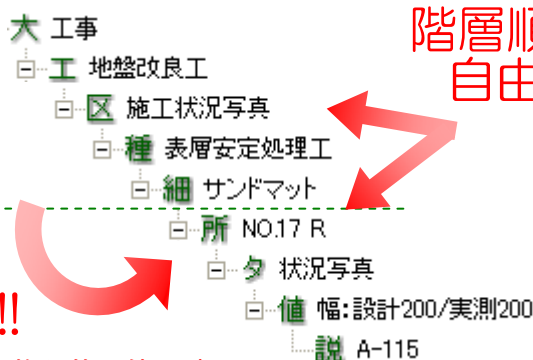
仕分けされた写真は自動的に XML 項目へリンクし、そのまま電子納品することも可能です。



従来



新バージョン



階層順位を自由に入替え!!

最大9階層まで管理可能!!

写真タイトル、撮影箇所、施行管理値、請負者説明文もフォルダ管理ができます!

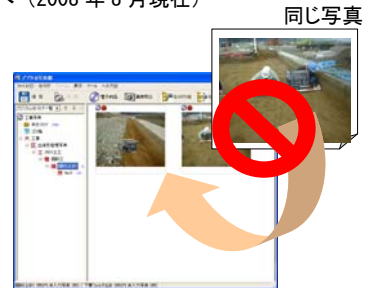
例えば工種を区分の上位にすることができます! それぞれで異なる順位を設定することも可能です!

業界初！ 写真取り込み重複防止機能

※当社調べ（2008年8月現在）

同じ写真を再度取り込むと確認画面を表示します。

【上書き】【追加】【取り込まない】の3つから選択できます。EXIF 情報の写真の撮影日とファイル名でチェックしているので、誤動作が少なく同じ写真を2枚取り込んでしまうよくあるミスを防ぎます。



こんな声にお答えします！



取り込んだ写真がどうか分からない！

写真エクスポート機能

仕分け画面から写真をドラッグ&ドロップできるようになりました。

打ち合わせに使用したい写真をすばやく取り出すことができます。ファイル名は土木技で管理しているときの記号になります。



こんな声にお答えします！



取り込んだ写真を別の所で使いたい！

インデックスの結合・分解

WORD や EXCEL などのインデックスを1つにまとめたり、分解したりすることができるようになりました。

※土木アプリのインデックスは結合できません。



こんな声にお答えします！



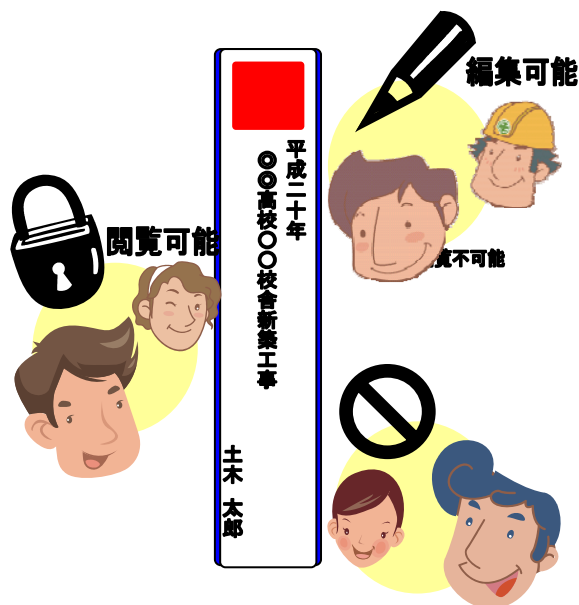
取り込み方間違えた!!やり直しなんて面倒!!

本棚非表示機能の追加(セキュリティ強化)

(クライアントサーバ版ご利用のお客様)

現状、本棚へのセキュリティは「更新可能」と「閲覧のみ」の2種類ですが、Ver1.6からは「非表示」を設定することができるようになりました。

土木技のファイル管理機能だけを使用するKami 技クライアント*を使用することで部署を跨いで土木技の活用が可能になりました。他部署に公開できない資料があってもユーザーによって更新/閲覧/非表示を設定できるので安心です。



*Kami 技クライアントとは？

Kami 技とは、土木技から“土木”の部分を切り取った製品です。本の中に「デジタル写真館」や「展開図」がありません。

土木技は書類を取り込む、保存するといった「本」の機能に長けていますので、御社の土木部門だけでなく他部署でも使ってもらおうと生まれたのがKami 技です。

Kami 技は無料ダウンロードできますので、ぜひご利用ください！

ウェストフィールドホームページ : <http://www.west-field.jp>

ダウンロード>無料ダウンロード>Kami 技クライアントより